

施策評価シート

施策コード	5401	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
施策名	交流拠点の魅力創出	所属名 経済観光部 経済・雇用戦略課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり
	政策	04	環日本海交流をはじめ、国内外との交流を盛んにする

2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>○アジアをはじめとした国外との人やモノ、文化、情報の流れが活発化し、グローバル化が進展する中、本市においても国際的視点で地域社会や地域経済を考えていくことが求められています。</p> <p>○国外の姉妹都市や環日本海諸国などの近隣の国・地域との多様な文化交流を展開しています。また、経済・観光交流へつなげることが期待されています。</p> <p>○国において訪日外国人旅行者の誘客が推進される中、観光資源の磨き上げや掘り起こしによる魅力の向上と情報発信を通じた認知度を高め、誘客を図ることが必要です。</p> <p>○鳥取自動車道の開通により、陸・海・空の交通の要衝としての優位性が一層向上しました。今後、環日本海諸国とのゲートウェイ（玄関口）都市としての存在感が増すよう、関西圏・山陽圏や環日本海諸国と連携を強化していくことが必要です。</p>
めざす方向	人、モノ、文化、情報の流れの活発化を図る取組みに力を入れるとともに、環日本海諸国などをはじめとする近隣諸国との交流を深め、世界に開かれ住みよい交流拠点として、文化交流や経済交流が活発な「環日本海ゲートウェイ都市」を目指します。
達成するための対策・手段	①市民等との連携による多様な交流の展開 ②国際経済交流の充実 ③環日本海経済交流の推進 ④国外への情報発信の強化 ⑤鳥取港や鳥取空港の利用促進

3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

指標名		単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果指標	1 鳥取港取扱貨物量	万t	目標	53	55	57	59	60
			実績	37,435	59,759	82,83	0	0
			目標達成率	71%	109%	145%		
			(指標の説明) 鳥取港における取扱貨物量(基準値はH21年度)					
	2 鳥取空港国際チャーター便数	便	目標	12	14	16	18	20
			実績	8	8	12	0	0
			目標達成率	67%	57%	75%		
			(指標の説明) 鳥取空港への国際チャーター便就航便数(基準値はH21年度)					
	3		目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
目標達成率								
(指標の説明)								

4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	36,183	23,750	23,560	0	0

5. 施策の成果【CHECK】

施策の成果 (成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)	環日本海地域との交流について、ロシアのウラジオストク市で開催された第19回環日本海拠点都市会議に参加したほか、平成22年のウラジオストク市に次いで平成24年8月に中国延辺朝鮮族自治州と経済交流を促進する覚書を締結しました。そのほか、中国貿易フェア、韓国物産展への参加、ウラジオストク市への経済・観光団派遣など、人・ものの交流を促進する取組を行いました。
---------------------------------------	--

6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡大 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
担当部長評価コメント (部としての施策の方向性) ※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載	グローバル化の進展の中、環日本海諸国をはじめとする諸外国と市内企業等との経済交流を一層促進・支援するとともに、環日本海経済交流センターの積極的な活動や国際発展協議会等による連携した取組を進め、本市の経済活性化に繋げていきます。

7. 市民アンケートに対する方向性

市民アンケートに対する方向性	【重要度：29位、満足度：27位、ニーズ度：28位】 ●すべての項目において極端に低い数値であるため、まずは、本施策の周知を図るなど重要度を高めるための取り組みを行う必要がある。
----------------	--

事務事業評価シート

事務事業コード	002421	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	姉妹都市等交流事業(国際交流)		所属名	企画推進部 企画調整課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	04	環日本海交流をはじめ、国内外との交流を盛んにする		根拠法令、根拠計画等	鳥取市年交流ビジョン
施策	5401	交流拠点の魅力創出				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鳥取港取扱貨物量		37万t	60万t	運営方法	直営
	鳥取空港国際チャーター便数		8便	20便	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	国際交流費		予算事業コード	01-02-01-07-11-04	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	本市の国際姉妹・交流都市をはじめとする各国他都市との交流
意図 (どのような状態にするために)	本市の国際姉妹・交流都市をはじめとする各国他都市との幅広い分野での交流を展開する
手段 (どうするのか)	各国の駐日大使や総領事、国際親善団体、経済団体との連携・交流事業を実施する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 各国の駐日大使や総領事、国際親善団体、経済団体との連携	平成24年度 各国の駐日大使や総領事、国際親善団体、経済団体との連携	平成25年度 各国の駐日大使や総領事、国際親善団体、経済団体との連携	平成26年度 各国の駐日大使や総領事、国際親善団体、経済団体との連携	平成27年度 各国の駐日大使や総領事、国際親善団体、経済団体との連携
	年度別実績	・日華親善協会事業への参加 ・南ソウル大学海洋ごみ収集活動への支援 ・延辺朝鮮族自治州への代表団派遣 ・ブラジル鳥取県人会への支援	・日華親善協会事業への参加 ・南ソウル大学海洋ごみ収集活動への支援 ・延辺朝鮮族自治州への代表団受入 ・ブラジル鳥取県人会周年行事への参加	・日台親善協会事業への参加 ・南ソウル大学海洋ごみ収集活動への支援 ・ブラジル鳥取県人会への支援		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	2,245	4,155	1,857	0	4,802
	直接経費 A	746	2,670	400	0	4,802
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	746	2,670	400	0	4,802	
人件費 B	1,499	1,485	1,457	0	0	
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		目標	回	目標	2	2	2	2	2	
	実績		実績	4	4	4	0	0		
	(指標の説明) 交流事業の実施回数									
	2	目標		0	0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3	目標		0	0	0	0	0	0		
	実績		0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 都市交流係 0857-20-3154</p> <p>【9次総の施策体系】 5401</p> <p>【事業の概要】 本市の国際交流は、姉妹都市提携の都市をはじめとする多くの都市と経済・文化・教育などのさまざまな分野にわたり行っている。</p> <p>【事業の成果】 ○ブラジル鳥取県人会創立60周年記念式典への参加 ・H24.11.18～11.25の7泊8日(11.20記念式典) ・市長、部長級、担当者の3名にてサンパウロ、アリアンサ村を訪問 ○日華親善協会事業への参加 ○南ソウル大学海洋ごみ収集活動への支援 ○ブラジル鳥取県人会へのしゃんしゃん傘修理用部品の提供</p> <p>【今後の課題・方向性】 国際交流の促進にあたって、特に、各国の駐日大使館や総領事館、国際親善団体、経済団体などとの連携が重要となっている。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	事業数	200%	200%	200%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	姉妹都市・友好都市以外で鳥取市と縁が深い民間交流活動を活用し、交流の幅を広げる。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	交流を絶やさず鳥取市との関係性を保つためには有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	行政主体ではなく、民間主体の活動を支援することで効率的に交流を展開することが可能。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市民にとって有益な交流につながるかどうかの見極めが必要。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	国際交流の促進にあたっては、国際親善団体、経済団体などとの連携が重要であるが、市民にとって有益な交流につながるかどうかの見極めが必要である。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002422	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	姉妹都市等交流事業(ハーナウ市)		所属名	企画推進部	企画調整課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	04	環日本海交流をはじめ、国内外との交流を盛んにする		根拠法令、根拠計画等	総規第4章姉妹都市・国際交流
施策	5401	交流拠点の魅力創出				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鳥取港取扱貨物量		37万t	60万t	運営方法	直営
	鳥取空港国際チャーター便数		8便	20便	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	ハーナウ市関連事業費			予算事業コード	01-02-01-07-11-05

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	ドイツ・ハーナウ市との交流
意図 (どのような状態にするために)	ハーナウ市との相互理解を深め交流を広げる
手段 (どうするのか)	両市で姉妹都市交流事業を実施し、両市の市民に情報発信を行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 10周年事業の実施 市民交流の促進	平成24年度 姉妹都市交流事業の実施(随時)	平成25年度 姉妹都市交流事業の実施(随時)	平成26年度 姉妹都市交流事業の実施(随時)	平成27年度 姉妹都市交流事業の実施(随時)	
	年度別実績	・姉妹都市提携10周年記念式典の相互開催(ハーナウ市代表团受入11名、鳥取市代表团・市民団派遣23名)	市民交流事業促進	○民間交流事業として、日独国際交流コンサートを両市で開催。費用の一部を補助し、開催支援を行った。 ○両市の高等学校交流事業として、市内の高等学校でハーナウ市高校PR事業を実施。			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	7,222	2,228	2,186	0	825	
	直接経費 A	4,973	0	0	0	825	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	4,973	0	0	0	825
人件費 B	2,249	2,228	2,186	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			回	目標	4	2	2	2	2	
			実績	4	1	3	0	0		
	(指標の説明) 交流事業の実施回数									
	2		目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0			
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 都市交流係 0857-20-3154</p> <p>【9次総の施策体系】 5401</p> <p>【事業の概要】 ハーナウ市との交流は平成13年11月20日の姉妹都市提携以降、市民交流などを中心に年々活発化している。平成21年には、ハーナウ市国際合唱祭への鳥取市代表団、合唱団の派遣と日本のまつり2009鳥取へのハーナウ市代表団、芸能団の受け入れを行った。平成23年度には、両市の姉妹都市提携10周年を迎えた。</p> <p>【事業の成果】 H23：姉妹都市提携10周年記念事業（代表団受入、式典開催、市民訪問団派遣） H22：ハーナウ市クリスマスマーケットへの工芸士派遣 H21：日本のまつり2009鳥取へのハーナウ市芸能団受入</p> <p>【今後の課題・方向性】 ハーナウ市行政関係者を含む交流訪問団を受け入れ、今後の交流事業について協議や市民団体との交流を実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業数	100%	50%	150%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	文化・教育・経済・教育といったさまざまな分野の交流を促進する。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	市民交流を促進することで、国際交流や多文化理解の機会となっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	市民団体による文化交流事業が多く実施されている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	全市域を対象に事業実施している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	相互交流を継続実施している市民団体や、新たに文化交流を実施する市民団体などがあり、両市の交流の輪は着実に広がっている。本市としては、継続して市民交流の支援を行い、両市の交流を促進していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002423	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	姉妹都市等交流事業(清州市)		所属名	企画推進部	企画調整課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	04	環日本海交流をはじめ、国内外との交流を盛んにする		根拠法令、根拠計画等	総規第4章姉妹都市・国際交流
施策	5401	交流拠点の魅力創出				
施策の目標	目標の種類別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鳥取港取扱貨物量		37万t	60万t	運営方法	直営
	鳥取空港国際チャーター便数		8便	20便	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	清州市関連事業費			予算事業コード	01-02-01-07-11-06

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	韓国・清州市との交流
意図 (どのような状態にするために)	清州市との相互理解を深め交流を広げる
手段 (どうするのか)	両市で姉妹都市交流事業を実施し、両市の市民にPRする

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 20周年事業の実施 市民交流の促進	平成24年度 姉妹都市交流事業の実施(随時)	平成25年度 姉妹都市交流事業の実施(随時)	平成26年度 姉妹都市交流事業の実施(随時)	平成27年度 姉妹都市交流事業の実施(随時)	
	年度別実績	代表団の相互訪問 市民交流事業促進	市民交流事業促進	清州市工芸ビエンナーレ参加。鳥取市ブーズ出店。H25.10.10-12 出店業者は、清州市での事業展開について検討された。			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	5,504	1,485	2,121	0	875	
	直接経費 A	3,492	0	664	0	875	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	3,492	0	664	0	875
人件費 B	2,012	1,485	1,457	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			回	目標	7	5	2	2	2	
			実績	7	5	1	0	0		
	(指標の説明) 交流事業の実施回数									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合わせ先】 都市交流係 0857-20-3154</p> <p>【9次総の施策体系】 施策No. 5401-01</p> <p>【事業の経過及び背景】 本市と韓国・清州市とは平成2年に姉妹都市提携を結び、平成22年に提携20周年を迎えた。両市間では大学や女性団体、書道、語学学習団体などの交流事業が実施されるなど、活発な市民交流が続いている。</p> <p>【事業の目的及び効果】 平成25年に開催される「清州国際工芸ビエンナーレ」に鳥取市代表団を派遣し、両市の姉妹都市交流をより一層推進する。</p> <p>【事業の内容・実績(過去3年)】 (内容) H23: 姉妹都市提携20周年記念式典の開催(鳥取市) 清州国際工芸ビエンナーレに鳥取市代表団および市民訪問団が参加(清州市) H25: 清州市文化関係者と懇談(清州市) 清州国際工芸ビエンナーレに鳥取市代表団参加および鳥取市ブースを出展(清州市)</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業数	100%	100%	50%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	姉妹都市の連携を深める
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	姉妹都市韓国清州市の一大イベントビエンナーレに継続的に参加することは今後の交流推進のためにも意義がある。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	清州市民に鳥取市を理解していただく費用として、おおむね効率的である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	ビエンナーレに出展する(出店する)業者を公募することも検討する余地がある。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	今後とも現状を維持して継続していきたい。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002427	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	国際交流推進事業(太倉市)		所属名	企画推進部	企画調整課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	04	環日本海交流をはじめ、国内外との交流を盛んにする		根拠法令、根拠計画等	
施策	5401	交流拠点の魅力創出				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鳥取港取扱貨物量		37万t	60万t	運営方法	直営
	鳥取空港国際チャーター便数		8便	20便	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	太倉市代表団受入事業費			予算事業コード	01-02-01-07-11-17

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中国・太倉市との交流
意図 (どのような状態にするために)	太倉市との相互理解を深め交流を広げる
手段 (どうするのか)	太倉市代表団などを受入れ、市域視察などを実施し、相互の情報交換を行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 太倉市代表団の受入	平成24年度 太倉市代表団の受入	平成25年度 太倉市代表団の受入	平成26年度 太倉市代表団の受入	平成27年度 太倉市代表団の受入	
	年度別実績		太倉市代表団の受入	来島されなかった。			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	183	0	0	410	
	直接経費 A	0	183	0	0	410	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	183	0	0	410
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	受入人数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			人	目標	5	5	0	1	1	
			実績	0	6	0	0	0		
	(指標の説明) 代表団の受入人数									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 都市交流係 0857-20-3154</p> <p>【9次総の施策体系】 施策No. 3020-20</p> <p>【事業の経過及び背景】 青谷町地域と中国・太倉市との友好関係を基礎に、平成22年10月に本市と同市は友好交流の覚書を締結し、今後、鳥取市全体との交流を推進する。</p> <p>【事業の目的及び効果】 本市の交流都市である中国・太倉市から、市長・副市長をはじめとする市政府の主要機関代表、文化、教育、産業経済関係者等を受け入れ、行政・教育・各種機関・団体訪問と懇談、市民交流、企業視察、公共施設等視察、市域視察などを実施し、相互の情報交換を通じて、国際ニーズに対応できる新たなまちづくりの視点を養い、もって住民の国際意識の涵養を図る。</p> <p>【事業の内容・実績(過去3年)】 (内容) ○太倉市代表団を4日間程度の日程(全体日程6日間の内鳥取市滞在期間4日間)で受入、目的に沿った効果的な事業を計画実施する。 ・市長の表敬訪問並びに懇談 ・主要公共機関、関係団体等の訪問並びに懇談 ・一般市民並びに児童・生徒、民間交流団体との交流事業 (実績) H25:実施せず H24:4月23日～26日/代表団6人 H23:実施せず</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	受入人数		120%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	近隣国との友好な関係継続のため。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	日程が合うかどうか重要。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	直接、リーダーと面会し話を進めることができる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	おおむね公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	合併で青谷町から引き継いだ交流都市でもあり、今後とも大切に継続して交流していきたい。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002428	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	国際交流推進事業(青少年使節団)		所属名	企画推進部	企画調整課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	04	環日本海交流をはじめ、国内外との交流を盛んにする		根拠法令、根拠計画等	鳥取市都市交流ビジョン
施策	5401	交流拠点の魅力創出				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鳥取港取扱貨物量		37万t	60万t	運営方法	直営
	鳥取空港国際チャーター便数		8便	20便	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	国際交流青少年使節団訪中事業費			予算事業コード	01-02-01-07-11-19

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小・中学生の国際交流
意図 (どのような状態にするために)	次世代を担う小・中学生に多様な文化に直接触れる機会を提供し、国際感覚に優れた人材を育成する
手段 (どうするのか)	小・中学生による訪中団を結成し、相互理解を深める交流事業などを実施する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 小・中学生訪中団の派遣	平成24年度 小・中学生訪中団の派遣	平成25年度 小・中学生訪中団の派遣	平成26年度 小・中学生訪中団の派遣	平成27年度 小・中学生訪中団の派遣	
	年度別実績	小・中学生訪中団の派遣: 8月3日～6日 参加者10人	小・中学生訪中団の派遣: 8月9日～12日 参加者10人	中国で鳥インフルエンザ発生、安全のため中止			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,966	2,062	0	0	1,704	
	直接経費 A	1,216	1,319	0	0	1,704	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	350	350	0	0	0
		一般財源	866	969	0	0	1,704
人件費 B	750	743	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		訪中団の派遣希望者数	人	目標	30	20	0	20	20	
			実績	44	29	0	0	0		
	(指標の説明) 訪中団の派遣希望者数									
	2		目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0			
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 都市交流係 0857-20-3154</p> <p>【9次総の施策体系】 0302-02</p> <p>【事業の経過及び背景】 次世代を担う小・中学生に、多様な文化と歴史・民俗慣習などに直接触れる機会を提供し、国際感覚に優れた人材の育成を図る。また、鳥取市の代表として友好交流の「大使」の役割を果たすことで、自信と活力を持った人づくりに寄与する。</p> <p>【事業の内容・実績(過去3年)】 (内容) 公募によって10人の小・中学生による訪中団を結成し、事前の研修において、交流のための中国語、現地で披露する郷土芸能の習得など行なう。 太倉市においては、教育機関である「少年宮」の子どもたちとの交流を行うほか、太倉市、蘇州市などにおいて、歴史・文化施設や伝統芸術施設の視察を実施し、見識を高める。</p> <p>(実績) H25：中国で鳥インフルエンザ発生、安全のため中止 H24：8月 9日～12日 小・中学生10人派遣 H23：8月 3日～ 6日 小・中学生10人派遣</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	訪中団の派遣希望者数	147%	145%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	小中学生の時期に、国際交流を経験することはこれから生きる青少年にとって有意義な経験になる。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	過去に行った経験者の体験談からも視野が広がったなど前向きな意見がほとんどである。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	経費の一部を参加者からも求めているすべて市役所負担ではない。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	H23まで、合併前の交流地である青谷町のみの中小学生を対象としていたが、公平の観点から鳥取市全域の小中学校から公募することにした。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	小中学生にも国際交流の機会を与えるいい事業と言える。今後とも継続していきたい。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002435	重点事業区分	リープロ5	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	環日本海経済交流推進事業		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成21年度 ~ 全期
	政策	04	環日本海交流をはじめ、国内外との交流を盛んにする		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	5401	交流拠点の魅力創出				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鳥取港取扱貨物量		37万t	60万t	運営方法	直営
	鳥取空港国際チャーター便数		8便	20便	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	環日本海経済交流推進事業費			予算事業コード	01-06-01-02-41-20

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	海外でのビジネスを検討している市内企業・事業者及び経済観光団体
意図 (どのような状態にするために)	環日本海地域ほか海外における貿易振興、観光客誘致
手段 (どうするのか)	貿易に関する相談窓口等サポート、貿易支援機関から収集した情報提供、海外への商談会・フェアへの出展

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 環日本海拠点都市会議の開催。経済交流の推進。	平成24年度 環日本海諸国ほか海外との経済交流の推進。	平成25年度 環日本海諸国との経済交流の推進。	平成26年度 環日本海諸国との経済交流の推進。	平成27年度 環日本海諸国との経済交流の推進。	
	年度別実績	第17回環日本海拠点都市会議、とっとり産業フェスティバル開催。中国延辺に鳥取市訪問団を派遣。	中国延辺朝鮮族自治州との経済交流書締結、中国延辺朝鮮族自治州での貿易フェア出展、ロシアウラジストク市経済団訪問による商談会の開催	中国延辺朝鮮族自治州投資貿易フェアの出展、中国上海鳥取市観光PRコーナーの開設、清州国際工芸ビエンナーレ出展、ロシアウラジストク市へ経済・観光団派遣・商談会の開催			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	2,945	7,903	11,275	0	17,000	
	直接経費 A	1,446	4,190	7,632	0	17,000	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,446	4,190	7,632	0	17,000	
人件費 B	1,499	3,713	3,643	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.50	0.50	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	貿易等相談件数	単位	千円	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		実績	0	200	200	200	200						
	(指標の説明)												
	2	目標	0	0	0	0	0						
		実績	0	0	0	0	0						
	(指標の説明)												
3	目標	0	0	0	0	0							
	実績	0	0	0	0	0							
(指標の説明)													

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 地域経済係 0857-20-3249</p> <p>【9次総の施策体系】 施策No.5401</p> <p>【予算計上の経過】 P120 (経021)</p> <p>【事業の概要】 環日本海地域との交流において、平成22年8月にロシアウラジオストク市、平成24年9月に中国延辺朝鮮族自治州と経済交流を促進する覚書を締結した。また、平成25年度は、中国貿易フェアに5社、韓国物産展に鳥取市ブースの出展、ウラジオストク市に行政・経済・観光団として25名が参加し、商談会、出展、観光説明会等を行った。さらに、韓国、中国、ロシアと日本の環日本海地域の都市で構成する環日本海拠点都市会議も19回を数える。</p> <p>【事業の成果】 ○延辺朝鮮族自治州で開催される貿易フェアに市内企業5社が出展 ○清州国際工芸ビエンナーレ出展及び鳥取市物産出展 ○ウラジオストク市チャーター便に併せ、鳥取市企業の商談会等を実施 ○「環日本海経済交流サポートセンター」の開設 (H25. 4/1) ○「鳥取市国際交流発展協議会」を設立 (H25. 4/1) し、市内経済・観光関係者やJ E T R O等支援団体等とネットワークを形成し、海外へ打って出る施策を検討・研究 ○「アセアン経済・観光入門セミナー」の開催</p> <p>【今後の課題・方向性】 本市の経済発展を推進するため、引き続き関係各都市と緊密な連携を保ちつつ、「環日本海地域」を含めた海外での具体的な貿易振興・観光客誘致の施策を実施していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	貿易等相談件数		20%	83%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	環日本海地域における各都市との経済・観光交流の活発化を図ることが本市の経済発展に資するものである。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	経済訪問団の派遣や物産展の出展することで、経済・観光交流を積極的に推進できている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	貿易相談やサポートを行い海外との経済交流を実施しているが、アンテナショップ等での物産品の販売をより推進したい。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市内企業を訪問し、サポートや相談するなど情報提供に努めている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	市内企業・事業者及び市内経済・観光団体、貿易関係機関、金融機関、県・市等との緊密な連携のもとに、環日本海地域ほか海外における具体的な貿易振興、観光客誘致の施策の検討・実施に取組み、経済・観光交流の一層の活発化を図ることにより、本市の経済発展を推進する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002420	重点事業区分	リープロ5	平成25年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	国際情報発信事業		所属名	企画推進部	企画調整課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	04	環日本海交流をはじめ、国内外との交流を盛んにする		根拠法令、根拠計画等	鳥取市都市交流ビジョン
施策	5401	交流拠点の魅力創出				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鳥取港取扱貨物量		37万t	60万t	運営方法	直営
	鳥取空港国際チャーター便数		8便	20便	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	国際交流員配置事業費			予算事業コード	01-02-01-07-11-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	国際姉妹都市との交流 市民の国際理解
意図 (どのような状態にするために)	国際姉妹都市などとの交流を推進する 市民の国際理解を推進する
手段 (どうするのか)	国際交流員を配置し、国際交流業務の円滑な推進をはかる。地域での国際理解講座に国際交流員を派遣し、国際理解を推進する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ドイツ、中国、韓国の国際交流員を各1人ずつ配置	平成24年度 ドイツ、中国、韓国の国際交流員を各1人ずつ配置	平成25年度 ドイツ・英語圏担当、中国担当、韓国担当の国際交流員を配置	平成26年度 ドイツ・英語圏担当、中国担当、韓国担当の国際交流員を配置	平成27年度 ドイツ・英語圏担当、中国担当、韓国担当の国際交流員を配置	
	年度別実績	交流事業の件数:12事業 国際交流員の外部派遣実績:93回(参加者数2,413人)	交流事業の件数:16事業 国際交流員の外部派遣実績:64回(1,639人)	交流事業の件数:10事業 国際交流員の外部派遣実績:60回(1,864人)			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	14,466	12,547	11,245	0	13,226	
	直接経費 A	12,217	10,319	9,059	0	13,226	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	24	0	0	0	0
一般財源	12,193	10,319	9,059	0	13,226		
人件費 B	2,249	2,228	2,186	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	国際交流員派遣事業への参加者数	単位	人	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		目標	2500	2500	2000	2000	2000				
	実績	2413	1639	1864	0	0					
(指標の説明) 国際交流員派遣事業に参加した市民の延べ人数											
2	目標	0	0	0	0	0					
	実績	0	0	0	0	0					
(指標の説明)											
3	目標	0	0	0	0	0					
	実績	0	0	0	0	0					
(指標の説明)											

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 都市交流係 0857-20-3154
	【9次総の施策体系】 5401
	【事業の概要】 ・JETプログラムによるドイツ・英語圏担当の国際交流員を1人配置。 ・韓国および中国担当の国際交流員については、地域人材を各1人配置。
	【事業の成果】 国際交流員の配置により、通訳や翻訳など国際姉妹都市などの交流業務を円滑に推進することができる。また、地域での国際理解講座、語学講座などに国際交流員を派遣することにより、市民の国際理解を推進することができる。
	【今後の課題・方向性】 国際交流の促進、地域の国際化の進展にともない、国際交流事業の企画・調整や来訪外国人の通訳、学校や地域での国際理解講座、各種講演など、国際交流員(CIR)配置の重要性は高まっている。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	国際交流員派遣事業への参加者数	97%	66%	93%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	姉妹都市交流をはじめとする国際交流事業の円滑な推進や、市民の国際意識の醸成、多文化共生社会の実現のため、市として継続的に取り組み必要がある。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	高い語学力を有し、現地事情に明るい国際交流員の配置を通じて、あらゆる分野の国際交流を円滑に推進できる。また、外国人住民の増加など、国際化が進展する中で、市民の国際感覚を醸成するうえで有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	市の国際交流施策を円滑に推進するための人材を効率よく確保するため、自治体国際化協会による外国青年招致事業と地域人材の登用を併用している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	広く市民を対象にした事業展開を行っており、公平性が保たれている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>姉妹都市交流をはじめとする幅広い都市交流の推進と、市民の国際意識の醸成、多文化共生社会推進のため、今後も一定レベルの人材を継続的に確保する必要がある。国際交流員派遣事業については、公民館や小・中学校に限らず、広く市民団体からの依頼にも柔軟に対応するよう努める。</small>		